

# 海上ボーリング申請

## 上関原発建設向け 来月にも着手へ

中国電

中国電力(広島市)は8日、上関町で計画する上関原発建設を巡り、原発の新規制基準に基づき原子炉設置審査に備えた海上ボーリング調査に向けて予定地海域の占用許可を県に申請した。県河川課によると審査に要する標準処理期間は33日。中国電は「許可後、速やかに作業に着手できるように準備を整える」としており、来月にも現地調査に着手するとみられる。2011年3月の東京電力福島第1原発事故後に埋め立て工事が中断して以降、初の海上作業となる。

【松本昌樹】

中国電は今年6月、明。その際に提出した工程表では7月末までに占用許可などの申請するに当たり、埋め立て工事再開に先立って6カ月のボーリング調査が必要と説明。その際に提出した工程表では7月末までに占用許可などの申請するに当たり、埋め立て工事再開に先立って6カ月のボーリング調査が必要と説明。その際に提出した工程表では7月末までに占用許可などの申請するに当たり、埋め立て工事再開に先立って6カ月のボーリング調査が必要と説明。

調査は、予定地の西側約200メートル沖に作業台船を据え付け、やぐらを組んで水深約13メートルの海底を約60メートル掘削し、活断層の有無についてデータを収集する。

反対派住民団体「上

関原発を建てさせない祝島島民の会」の清水敏保代表(64)は「海に手を付けられることに憤りを覚える。許可しないよう県に申し入れたい」と反発している。